

第4・5学年 国語科複式学習指導案

日時 平成22年9月10日(金) 5校時

児童数 4年 女2名 計2名

5年 男1名 女1名 計2名

場所 4・5年教室

指導者 坂下 和 泉

第4学年

1 単元名

材料の選び方を考えよう

2 教材名

「アップとルーズで伝える」 中谷 日出

「四年三組から発信します／選んで伝える」

3 単元について

(1) 児童観

家庭での音読練習に励み、授業でも積極的に発言する子どもたちである。「『かむ』こと力」の説明文の学習では、中心となる語や中心文、接続語を手がかりに要点をまとめる学習をした。児童の実態を見ると、内容をほぼとらえることはできるが、自分の考えの根拠をもって中心文を的確におさえ、要点をまとめる力はまだ十分とは言えない。そこで、家庭学習において中心となる語や接続語、文末表現を手がかりに中心文をおさえ、それをもとに要点をまとめることを積み重ねている段階である。

(2) 教材観

第3学年及び第4学年の「読むこと」領域における目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」ことである。これを受けて「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」が学習の中心となる。また、「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる」ことである。これを受けて「ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること」が学習の中心となる。

本単元は「アップとルーズで伝える」と「四年三組から発信します／選んで伝える」の2つの教材で構成されている。

1つ目の「アップとルーズで伝える」は、写真と文章を照らし合わせて読むことにより、段落の内容が読み取りやすくなっている。また、「初め」「中」「終わり」という分かりやすい構成になっており、段落相互のつなが

第5学年

1 単元名

目的に応じた伝え方を考えよう

2 教材名

「ニュース番組作りの現場から」 清水 建宇

「工夫して発信しよう／編集して伝える」

3 単元について

(1) 児童観

家庭での音読練習に励み、授業中真剣に学習する態度が身に付いている子どもたちである。説明文の学習では、「サクラソウとトラマルハナバチ」において、語句に着目して段落ごとの要点をとらえ、文章の構成から要旨をとらえることを通して、筆者の考えに対して自分の考えをもつ学習をしてきた。児童の実態を見ると、読み取りの力には個人差がある。そこで、家庭学習において、中心となる語や接続語を手がかりに段落の要点をとらえたり、段落の関係をつかみ文章構成について考えたりする学習を積み重ねている段階である。

(2) 教材観

第5学年及び第6学年の「読むこと」領域における目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」ことである。これを受けて「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」が学習の中心となる。また、「書くこと」の目標は、「目的や相手に応じ、考えたことを文章全体の構成の効果を考え文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる」ことである。これを受けて「ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること」が学習の中心となる。

本単元は「ニュース番組作りの現場から」と「工夫して発信しよう／編集して伝える」の2つの教材で構成されている。

1つ目の「ニュース番組作りの現場から」はニュース番組の特集の作り方についてまとめた文章である。時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方等が分かりやすく整

りや役割を理解し、文章構成を考えさせるのに適した教材である。さらにこの教材は、子どもたちが最もよく目にしていくメディアであるテレビの映像技法を中心に述べられており、児童にとって身近に感じられ、興味・関心を抱きやすいと考える。「選んで伝える」は、第2次や第3次の学習において活用する。

2つ目の「四年三組から発信します」は、「アップとルーズで伝える」で学習した段落構成や小見出しを用いて、自らが情報の発信者となって、情報の収集・選択・発信を行っていくのに適した教材である。

(3) 指導観

第1次では、単元全体を見通し、「アップとルーズで伝える」「四年三組から発信します／選んで伝える」で構成されていることを知らせる。そして、第1教材について学ぶ計画を立てさせ、その後、学習したことを活用してオリジナルパンフレット作りに取り組むという見通しをもたせる。

第2次では、文章の内容をとらえるために、『『かむ』ことの力』で学習した中心文やくり返し出てくる言葉、題名とつながりのある言葉に着目させて、「アップとルーズで伝える」の要点をまとめさせたい。また、写真と文章を対比させながら、段落の内容を確かめさせ、段落と段落の関係が「対比」や「まとめ」になっていることをおさえ、文章構成をつかませたい。

第3次では、自分が発信する目的や相手を明確にして題材を選択して情報を収集させ、学校や地域にあるものについて、第2次の学習を生かしてパンフレットを作成する活動に取り組ませたい。

(4) 研究仮説にかかわって

研究仮説手立て①考えを深め、まとめに活かすための「書く活動」の工夫にかかわっては、課題解決の手がかりになる言葉や文にサイドラインを引く活動を繰り返す、その根拠を明らかにさせながら、要点をまとめさせたい。そして、単位時間の学習内容について分かったこと、思ったことなどを書かせたい。このような学習活動を積み重ねながら読み深めることで、第3次において学校や地域にあるもの（題材）を相手や目的を明確にして取材し、パンフレットに書き表す活動につながると考える。

研究仮説手立て②最終ゴールをイメージした単元計画の工夫にかかわっては、「アップとルーズ」の学習で身に付けた「小見出し・写真・説明」の形を活用してパンフレット作りを行うことを知らせる。また、本単元の学習と並行して、アップやルーズで撮影したものやパンフレット作りに必要な表現方法などに関するブックワークに取り組ませたい。

理されている。その点で、本教材はニュース番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る文章としても適していると考える。「編集して伝える」は、第3次の学習において活用する。

2つ目の「工夫して発信しよう」では、自分が伝えたいことや相手が知りたいことを伝えるにはどうしたらよいかを考えることを通して、「ニュース番組作りの現場から」で学んだ目的に応じた情報の配列・編集等について理解を深めることができる。この点から、目的に応じて、筋道立てて文章を書くのに適した教材である。

(3) 指導観

第1次では、単元全体に目を通し、「ニュース番組作りの現場から」「工夫して発信しよう／編集して伝えよう」で構成されていることを知らせる。そして、第1教材について学ぶ計画を立てさせ、その後、学習したことを生かして貝沢小学校の出来事を新聞にして発信するという見通しをもたせる。

第2次の読み取りでは、「サクラソウとトラマルハナバチ」で学習した文章構成（問題提起－説明－まとめ）を想起させ、「ニュース番組作りの現場から」の文章構成を考えさせることで段落の内容に見通しをもたせたい。どのようにニュース番組作りが進められているのかを、時間を表す言葉や接続語、文末表現などに着目させながら時間の経過に沿って表にまとめさせていく。そしてニュース番組の特集の作り方の過程、大事な点や工夫していること、努力や願いを読み取らせ、目的に応じて要旨をとらえさせたい。

第3次では、伝えたい校内の活動（行事）を決め、それを新聞にまとめる。その際、「ニュース番組作りから」で読み取ったことを手引きとして、一人一人が主体的に活動するように支援していきたい。

(4) 研究仮説にかかわって

研究仮説手立て①考えを深め、まとめに活かすための「書く活動」の工夫にかかわっては、番組作りの過程が分かる言葉や、大事な点・工夫が分かる言葉に着目してサイドラインを引かせ、表に書きまとめさせるという手順で学習に取り組ませていく。そして、単位時間の学習内容について分かったこと、思ったことなどを書かせたい。このような学習活動を積み重ねながら読み深めていくことで、第3次において新聞に表して発信することにつながると考える。

研究仮説手立て②最終ゴールをイメージした単元計画の工夫にかかわっては、「ニュース番組作りの現場から」の学習をもとに、伝えたい校内の活動（行事）について、「話題選び・取材・編集」の過程を通して新聞作りに取り組むことを知らせる。また、本単元の学習と並行して、「情報発信にかかわる仕事や方法」に関するブックワークに取り組ませたい。

4 単元の目標

【関心・意欲・態度】

- ・情報を伝える方法に工夫があることを知り、写真と文章を対比させて読み取ろうとしている。
- ・知らせたいことを決め、進んで材料を集め、読み手が分かりやすい記事を書こうとしている。

【書くこと】

- ・取材した事柄を相手に応じて分かりやすく書くことができる。
- ・相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書くことができる。

【読むこと】

- ・段落の役割をとらえ、段落相互の関係を考えながら文章を正しく読み取ることができる。
- ・書かれている内容について、写真と対応させながらそれぞれの特徴や使い分けの理由について正しく読み取ることができる。

【言語事項】

- ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使うことができる。

4 単元の目標

【関心・意欲・態度】

- ・報道するための過程や工夫について読み取ろうとしている。
- ・情報を発信するために、相手に分かるような編集をして伝えようとしている。

【書くこと】

- ・自分が伝えたいこと、相手が知りたいことなどを考えて発信することができる。
- ・編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理することができる。
- ・集めた材料を目的に合わせて整理し、加工して伝えることができる。

【読むこと】

- ・情報発信の過程やその過程で必要な事柄を時間の順序にしたがって読み取り、要旨をとらえることができる。

【言語事項】

- ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。

5 指導計画と評価規準（4年13時間・5年15時間）

次	第4学年			第5学年			次
	評価規準	学習活動	時	学習活動	評価規準		
第一 次			1	・単元の学習内容を知り、学習の見通しをもつ。 ・ブックウォークに取り組み始める。	【関心・意欲・態度】 ・教材文を読み、初めて知ったことや興味をもったことなどを感想にまとめようとしている。	第一 次	
			2	・新出漢字の練習、難語句の意味を調べる。	【関心・意欲・態度】 ・新出漢字の練習や難語句の意味調べに意欲的に取り組んでいる。		
	【関心・意欲・態度】 ・教材文を読み、初めて知ったことや興味をもったことなどを感想にまとめようとしている。	・単元の学習内容を知り、学習の見通しをもつ。 ・ブックウォークに取り組み始める。	1	3	・話題提示文をとらえ、文章全体の大まかな構成をつかむ。	【読むこと】【言語事項】 ・話題提示文をとらえ、文章全体の構成をとらえている。	
	【関心・意欲・態度】 ・新出漢字の練習や難語句の意味調べに意欲的に取り組んでいる。	・新出漢字の練習、難語句の意味を調べる。	2	4	・ニュース番組作りの手順を読み取る。	【読むこと】【言語事項】 ・ニュースを伝えるまでの手順を理解している。	第二 次
	【読むこと】 ・段落と段落のつながりを考えて3つのまとまりに分け、学習の見通しをもっている。	・大まかな文章構成をつかみ、学習の計画を立てる。	3	5	・ニュース番組作りにおける話題選び、会議、取材の過程を読み取り、表にまとめる。	【読むこと】 ・それぞれの過程について読み取ったことを表にまとめている。	

第 二 次	【読むこと】【言語事項】 ・写真と文章の関係を理解し、「アップ」と「ルーズ」の意味を理解している。	・「アップ」と「ルーズ」の違いと、筆者が提示した話題について読み取る。	4	6	・ニュース番組作りにおける撮影から原稿作りまでの過程を読み取り、表にまとめる。	【読むこと】 ・それぞれの過程について読み取ったことを表にまとめている。
	【読むこと】【言語事項】 ・「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を読み取っている。	・「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を読み取る。	5	7 本 時	・ニュース番組作りにおいて大切なこと、工夫していることを読み取る。	【読むこと】 ・番組作りの各過程で大切なこと、工夫していることを読み取っている。
	【読むこと】【言語事項】 ・「アップ」と「ルーズ」が目的に応じて使い分けられていることを読み取っている。	・筆者の伝えたいことを読み取る。	6	8	・文章構成をつかみ、要旨をまとめる。	【読むこと】【言語事項】 ・文章全体の要旨をとらえている。
	【読むこと】 ・段落相互の関係を理解し、文章の全体の構成をつかんでいる。	・段落の役割をとらえて文章全体の構成をつかみ、図にまとめる。	7	9	・新聞の紙面構成の工夫やテレビ番組作りとの相違点をつかむ。	【読むこと】 ・新聞の紙面構成の工夫やテレビ番組作りとの相違点を理解している。
第 三 次	【関心・意欲・態度】 ・教材文から読み取ったことをもとに、知らせたいことを発信するために必要な材料を意欲的に集めようとしている。	・取材の仕方・まとめ方を知る。	8	10	・取材方法や内容を考え、新聞の企画書を書く。	【書くこと】 ・目的に沿った企画書を書いている。
	【書くこと】 ・知らせたいことと相手を決め、どんな形で発信するのかを考えている。	・取り上げる題材を決め、取材する。	9	11 ・ 10 12	・企画書にしたがって取材する。	【関心・意欲・態度】 ・積極的に取材しようとしている。 【書くこと】 ・情報を収集し、メモに書いている。
	【書くこと】【言語事項】 ・相手や意図に応じて写真や材料を選び、分かりやすくまとめている。	・材料を選び、記事を書いたり割付をしたりする。 ・清書し、仕上げる。	11 ・ 12	13 ・ 14	・取材したことを編集し、清書する。	【書くこと】【言語事項】 ・取材したことを効果的に伝えるために情報や言葉を選んで文にまとめている。
	【関心・意欲・態度】 ・友達のパンフレット見合い、よさを見つけようとしている。	・できたパンフレットを交流する。	13	15	・できた新聞を交流する。	【関心・意欲・態度】 ・友達の新聞を見合い、よさを見つけようとしている。

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・アップとルーズの違いを読み取ることができる。

(2) 具体の評価規準

【読むこと】

- A：アップとルーズについて「伝えられること」と「伝えられないこと」を自分の言葉で適切にまとめている。
- B：アップとルーズについて「伝えられること」と「伝えられないこと」まとめている。
- Cへの支援：「アップ」「ルーズ」という言葉や接続語、文末に着目させ、長所と短所が分かる文を読み取れるように支援する。

(3) 展開

段階	留意点・支援 ◆評価	学 習 活 動	形態	学 習 活 動	留意点・支援 ◆評価	段階
つかむ・見通す 7分	◇「アップ」と「ルーズ」の意味を確認する。 ◇「アップ」「ルーズ」、文末、接続語に着目することをおさえる。 ◇学習場面を微音読させる。	1 前時の学習を振り返る。 2 本時の学習課題を確認する。 アップとルーズでは、どんなちがいがいいのかを読み取ろう。 3 課題解決の見通しをもつ。 4 学習場面を音読する。		1 前時の学習活動を振り返る。 2 本時の学習課題を確認する。 番組作りの過程で大切なことや工夫していることを読み取ろう。 3 課題解決の通しをもつ。	◇番組作りの過程を確認する。 ◇「工夫」「大切」という言葉に着目することをおさえる。	つかむ・見通す 5分
深める 33分	◇4段落と5段落を読み、「アップ」で「分かること」と「分からないこと」、「ルーズ」で「分かること」と「分からないこと」にサイドラインを引かせ、表にまとめさせる。 ◆接続語や文末に着目して、「アップ」と「ルーズ」の違いを表にまとめることができたか。 ◇中心文にサイドラインを引き、自分の言葉でまとめさせる。 ◇細かい部分の様子、広い範囲の様子と具体例とを対応してとらえさせる。 ◇「このように」が示す内容や「伝えられること」「伝えられないこと」は何かを確認する。	5 課題に迫るための読み取りをする。 (1) 4段落の「アップ」にすると「分かること」「分からないこと」を読み取る。 (2) 5段落の「ルーズ」にすると「分かること」「分からないこと」を読み取る。 (3) 6段落を読み取る。 (4) 読み取ったことを発表し、確認する。 (5) まとめの音読をする。		4 課題に迫るための読み取りをする。 (1) 話題を選ぶとき、取材をするとき、インタビューや撮影をするとき、編集するときに大切なことや工夫していることを表にまとめ、確かめる。 (2) 放送原稿の工夫について確かめる。	◇それぞれの過程が書かれている段落を微音読して大切なことや工夫していることにサイドラインを引かせる。自分の考えの根拠を明らかにさせながら発表させ、確かめる。 ◆「工夫・大切」という言葉に着目してサイドラインを引くことができたか。 ◇⑩段落を読み、「工夫」という言葉に着目させて、放送原稿の工夫について自力解決させる。 ◆「工夫」という言葉に着目して放送原稿の工夫を3つ書くことができたか。	深める 35分
まとめる 5分	◇今日の学習内容が理解できたか、分かったことや友達から学んだことなどを振り返ってまとめさせる。	6 今日の学習を振り返る。 (1) 自己評価をする。 (2) 学習の感想を書く。 (3) 本時の学習について5年生と交流する。		6 今日の学習を振り返る。 (1) 自己評価をする。 (2) 学習の感想を書く。 (3) 本時の学習について4年生と交流する。	◇今日の学習内容が理解できたか、分かったことや友達から学んだことなどを振り返ってまとめさせる。	まとめる 5分

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・番組作りの各過程で大事な点や工夫していることを読み取ることができる。

(2) 具体の評価規準

【読むこと】

- A：番組作りの各過程で大事な点や工夫していることを正確に読み取り、自分の言葉でまとめている。
- B：番組作りの各過程で大事な点や工夫していることをまとめている。
- Cへの支援：「工夫」「大切」という言葉に着目させ、大事な点や工夫していることが分かる文を読み取れるように支援する。